



1. 事業の趣旨

主体的に社会に参画しようとする青年を対象に、事業の企画・運営を通してリーダーシップを身に付け、将来のリーダーとなるための体験を通じた学びを提供する事業である。「リーダーシップ」をキーワードに、企画・運営の様々な場面で合意形成・問題解決を繰り返す中で、対人関係能力等リーダーとして必要な資質の向上を図ることをねらいとしている。

平成21年度は、社会へメッセージを発信していくと共に、青年がリーダー的力量的形成を図りながら社会参画できるようにした。

2. 事業の概要

(1) 日程

【①企画力・運営力アップセミナー編】

7/3 (金)			20:00	20:30	21:30 23:00	
		受付	オープニング	講義・実習① 「ねらいの共有」 ～昨年度の事例発表～	入浴	就寝

7/4 (土)	6:30	9:00	12:00 13:00	17:10	19:00	21:00	
	起床	朝食	講義・実習② 「企画力とは？」 「企画のポイント」	昼食	実習③ 「企画から運営へ」 「企画をカタチに！！」	夕食	実習④ 「アクションプランの作成①」

7/5 (日)	6:30	9:00	12:00 13:00	15:00	16:00
	起床	朝食	講義・実習⑤ 「アクションプランの作成②」	昼食	講義・実習⑥ 「アクションプランの発表・評価」

【②想いを形にする編】

1 日 目	12:30 13:00		14:00		17:10 19:00		21:00		
		受 付	オープ ニ ン グ	実習① 夢ステージ企画につ いての話し合い①		つ ど い	夕 食	実習② 夢ステージ企画につ いての話し合い②	入 浴
2 日 目	6:30	9:00		12:00 13:00		14:00		15:00	
	起 床	つ ど い	朝 食	実習③ 夢ステージ企画につ いての話し合い③		昼 食	実習④ 夢ステージ企画につ いての話し合い④		クロー ジ ン グ

【③夢が現実になる本番編】

10/23 (金)	20:00 20:30				21:30 23:00			
		受 付	オープ ニ ン グ 企画運営の準備①			入 浴	就 寝	

10/24 (土)	6:30	9:00	11:00		16:00		17:30	19:00	21:00			
	起 床	つ ど い	朝 食	企画運営 の準備②		「さんべ祭」本番①		後片 付け	夕 食	休 憩	今日 の ふ り か え り 企画 運 営 の 準 備 ③ 交流 会 等	入 浴

10/25 (日)	6:30	9:00		14:30	15:00	16:00	
	起 床	つ ど い	朝 食	「さんべ祭」本番②		後片 付け	クロー ジ ン グ

(2) 募集対象・人数 大学生(短期・専門学校を含む), 社会人

- ①企画力・運営力アップセミナー編 20人
- ②想いを形にする編 30人(各回とも)
- ③夢が現実になる本番編 30人

(3) 参加者

- ①企画力・運営力アップセミナー編 21人
- ②想いを形にする編 51人(合計)
(第1回:11人, 第2回:8人, 第3回:9人, 第4回:8人, 第5回:15人)
- ③夢が現実になる本番編 31人

(4) 講師

- ①企画力・運営力アップセミナー編 西田真哉 氏(トヨタ白川郷自然学校長)
(元国立三瓶青少年交流の家所長)

(5) 企画のポイント

企画・運営におけるポイントを、企画力・運営力アップセミナー編での講師の講義等により理解し、それを活かしながら実際にさんべ祭自体の企画・運営に関わっていく。また、「リーダーシップ」については講義的に指導せず、企画を成功に導く過程において、コミュニケーション能力・合意形成能力・問題解決能力等を必要とする場面を体験することにより、リーダー的力量的形成を図るための学びを深め、今後自分の身の回りで発揮できるようにする。

(6) 運営のポイント

【①企画力・運営力アップセミナー編】

参加者のモチベーションを第一に考え、参加者の状況を十分に確認しながら講師と共に活動を検討し、状況に合った柔軟なプログラム展開ができるようにした。

【②想いを形にする編及び③夢が現実になる本番編】

リーダー格の参加者に伝えるべきことを伝える以外は、あくまでも支援者として関わることを基本的なスタンスとした。また、企画力・運営力アップセミナー編で出てきた企画の幹になる部分と参加者の想いの部分を引き継ぐと同時に、新たな参加者の想いが上手く融合するように配慮した。

3. 活動の内容等

本事業は、3編シリーズとなっている。第1編は、企画・運営について学びを活かし、企画の骨格を作成する過程である。第2編では、企画を具体化・実現化していく過程で、第3編は、実際に企画を発表する過程になっており、長期的に様々な体験ができる場を設定している。企画を立てる過程から発表までの活動は参加者主体で行い、モチベーションを高めると共に、青年たちの可能性や創造力を最大限発揮できる形にしている（自立尊重的指導）。また、広報・普及事業「さんべ祭」をこの事業の発表の場とすることで、企画の運営を通して訪れた様々な人たちと接したり、想いを伝えたりすることで生の反応を実感でき、社会参画の意欲が高まると共に、次代のリーダーとしてよりよい社会の実現のための学びが獲得できる事業である。

【①企画力・運営力アップセミナー編】

講師に西田真哉先生を招へいした。企画・運営に関する基本的な事柄から、実際に企画を実現するための重要なポイントについて理論を体験的に学べるように、様々なアクティビティを通して指導していただいた。その後、グループに分かれてアクションプランの作成の時間となり、ここからプレゼンテーションまではグループの自主的な活動となった。



企画・運営についての講義



体験的なアクティビティ



アクティブなプレゼンテーション

【②想いを形にする編】

ここからさんべ祭当日まで、参加者が日程や活動内容等を決めて主体的に取り組む形となり、職員は必要ときのみ助言を与えるサポート的役割に徹していった。前回のセミナーの参加者の想いを引き継ぎながら、「結～自然とつながる Youme ステージ～」という全体テーマのもと、ステージ班・ス

ナッグゴルフ班・ギネス班・プラとんぼ班の4つのグループに分かれて活動が行われた。



職員に対するプレゼンテーション



スナッグゴルフ班の試行



プラとんぼ班の試行



試行錯誤のギネス班



サイエンジャーの試行をするステージ班



情報の共有化をする全体会

【③夢が現実になる本番編】

本番までに練り上げられた企画は、次の通りである。

○ギネス班：自転車発電を通して省エネルギーを考えるきっかけを作る。

○スナッグゴルフ班：スナッグゴルフを通して家族の絆を深める。

○ステージ班：「大切な人に想いを伝えよう」をコンセプトにしたステージ企画を立案・運営する。

○プラとんぼ班：様々な工夫で「プラとんぼ」の楽しさを子どもたちに体験させる。

各班の企画をコラボレーションさせるため、「夢ステラリー」と題したスタンプラリーや記録に挑戦する「ギネス認定」などの工夫を行った。



ギネス班の自転車発電の様子



参加の呼びかけをするスナッグゴルフ班



プラとんぼの楽しさを体験



大人気だったサイエンジャーショー



老若男女が一体となった感動のフィナーレ

4. 事業の成果等

(1) 成果等

【①企画力・運営力アップセミナー編】

参加者は、講師の体験的なアクティビティから、企画・運営に関する必要な知識を身に付け、企画・運営に必要な様々な能力（コミュニケーション能力・合意形成能力・問題解決能力等）を高めることができた。また、さんべ祭に向けての企画の概要や実現に向けての組織づくりやネットワークづくりなど具体的な動きを作ることができた。

【②想いを形にする編】

過去4年間の中では一番参加者が少なかったが、少人数の特性を活かして全体での話し合いを頻繁に行うことによって、情報の共有化や問題点の克服を行い、主体的かつ組織的な活動を展開することができた。

【③夢が現実になる本番編】

参加者は、自らのネットワークを十分に活用して、当日の企画運営に必要なスタッフを確保した。各班同士や、他のさんべ祭の参加団体とのつながりを深め、保育園児から高齢者までが一体となったさんべ祭を創りあげることができた。地域や出店者の方々を巻き込んだ盛大なフィナーレを実施し、一体感を感じ取り、参加者一人ひとりが「未来のリーダー」となっていた。また、地域の方々から、「大学生がさんべ祭の企画・運営に一生懸命参画している姿を見て、元気や勇気をもらった。」という評価を聞くことができた。

(2) 実施後の聞き取り（アンケート）の満足度・主な記述

【①企画力・運営力アップセミナー編】

満足度（アンケート回答者21人中）満足13人（62%）やや満足7人（33%）
やや不満1人（5%）

- ・今回は、企画力・運営力アップセミナーであったので、主に部屋での講義やグループワークが多かったと思います。しかし、よりよいアイデアや話し合いを進めていくためには体を動かすことも少しは必要でないかと思いました。
- ・とても内容の濃い4日間でした。企画の難しさや、先輩方の目線・意見を勉強することができました。また、職員さんともお話して、よいアドバイスをたくさんいただきました。
- ・本番は、参加できないが、今回のセミナーで参加したくなった。
- ・これからの“人集め”大変でしょうけど・・・がんばってくださいネ。10月の本番は、できるかぎり・・・これますように！！

【②想いを形にする編】

満足度（アンケート回答者51人中）満足26人（51%）やや満足21人（41%）
やや不満4人（8%）

- ・とても充実していました。内容の濃い2日間でした。
- ・自分の力量不足を感じました。
- ・とても楽しく学びの多いものになった。
- ・仲間のありがたさを実感できた。
- ・話し合いの仕方には少し改善点は見られました。
- ・楽しかった。自分たちで考えて、自由に動けたので有意義だった。
- ・時間に余裕をもって活動できた。自分たちのやりたいことができた。
- ・職員さんの目線で貴重なご意見をありがとうございました。

- ・色々な道具が次から次と貸してもらえ、活動しやすかった。
- ・初めて参加しましたが、とても楽しく活動することができました。

【③夢が現実になる本番編】

満足度（アンケート回答者31人中）満足23人（74%）やや満足7人（23%）
やや不満1人（3%）

- ・自分たちのやりたいことが形になったと思います。ありがとうございました。
- ・今回できなかったこと、中途半端だったこと、次こそはやりきる！！
- ・たくさんのことを学ぶことができました。ありがとうございました。
- ・子どもから大人まで非常に楽しそうに活動されていて、自分も元気になりました。参加してよかったです。
- ・参加者みんなで作るお祭り、という感じがよかったです。
- ・参加してよかったです。ありがとうございました。

5. 事業の総括

平成19年度・平成20年度に比べ、1・2回生の参加者数の減少が著しく「企画力・運営力アップセミナー編」が終了した時点では、過去3年間のような学生企画が実施できるか不安が大きかった。しかし、参加者は、島根大学松江キャンパス内で独自に全体会や各班ごとの話し合いを重ね、情報の共有化（メーリングリストの活用）や問題点の克服を行った。また、自分たちのネットワークを活用して、さんべ祭当日には企画の運営に必要なスタッフを確保し、夢を現実にしていく本番を参加者自身の力で創りあげていった姿はとても印象的であった。そして、さんべ祭に参画している他の団体にさんべ祭のフィナーレへの参加を呼びかけ、保育園児、若者、高齢者といった様々な年齢層の代表者がさんべ祭の感想を発表し、老若男女が一体となり感動のフィナーレを迎えることができた。

さんべ祭の実施より4ヶ月後に、参加者に聞き取りを行った。その結果、さんべ祭がきっかけとなり社会参画（ボランティア活動や公民館活動への参加）をするようになったという、うれしい報告を3人より聞くことができた。現在は、まだ実行できていないけど、今後してみたいという意欲をもった参加者が全体の6割いた。反対に社会参画できていない理由としては、「まだ自信がない。もう少し、時間が必要である。意欲はあるけど、実際にどこにどのように働きかけたらよいか分からない。」などの意見があった。

参加者自身が、企画立案から運営まで携わり創りあげた「さんべ祭」であった。参加者は、来場者や関係者からたくさんの肯定的な評価を受けることができた。そのことが参加者の自信となり、さらなる社会参画につながっていくものと考えられる。また、このさんべ夢ステージボランティアとして活動していた青年たちが公立小学校の教員等になり、社会で主体的に活躍している。



最高の笑顔の参加者たち！！